

# 会 議 録

会 議 名	平成28年度 第5回目黒区住宅政策審議会
日 時	平成29年3月1日（水）午後6時～8時
場 所	目黒区総合庁舎地下1階 第15・16会議室
出 席 者	<p>1 委員（14名）  中島明子、村山武彦、葉袋奈美子、西村ちほ、いいじま和代、森美彦、西崎つばさ、たぞえ麻友、山科久夫、渡部正輝、東川邦昭、岡川行利、河野昌善、雑賀成元（敬称略）</p> <p>2 区（事務局）  幡野都市整備部長、酒井住宅課長、事務局</p>
欠 席 者	松本暢子、松田哲也、（2名）
傍 聴 者	2名
配布資料	<p><b>【配付資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目黒区住宅政策審議会委員名簿（平成28年12月1日現在）</li> <li>○平成28年度第5回目黒区住宅政策審議会次第</li> <li>○資料1 答申「中間のまとめ」に対する議会からの主な意見</li> <li>○資料2 答申「中間のまとめ」に対する区民意見等と対応（案）について</li> <li>○資料3 第4回小委員会における審議について</li> <li>○資料4 答申（案）について</li> <li>○資料5 答申「中間のまとめ」からの追加・修正箇所一覧表</li> <li>○参考資料 目黒区住宅マスタープラン改定のための基礎調査報告書</li> </ul> <p><b>【参考資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目黒区住宅マスタープラン〔第5次〕（本編）</li> <li>○目黒区住宅マスタープラン〔第5次〕施策進捗状況（平成27年度）  〔住政審第1回 資料3〕</li> <li>○目黒区住宅マスタープラン改定のための基礎調査（中間報告 Ver.1）  〔住政審第1回 資料4-1〕</li> <li>○目黒区都市整備部住宅課事業概要（平成27年度実績）〔住政審第2回 資料1〕</li> <li>○目黒区住宅政策審議会からの答申（平成23年2月）〔住政審第2回 資料3〕</li> <li>○目黒区住宅マスタープランの改定に向けた基本的方向と今後の住宅政策のあり方について 中間のまとめ〔12月10日付送付資料〕</li> </ul>

<p>会議次第</p>	<p>1 開会</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 答申「中間のまとめ」に対する議会からの主な意見〔資料1〕</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 目黒区住宅マスタープランの改定に向けて</p> <p>①答申「中間のまとめ」に対する区民意見等と対応（案）について〔資料2〕</p> <p>②第4回小委員会における審議について〔資料3〕</p> <p>③答申（案）について〔資料4・5〕</p> <p>(2) その他</p> <p>4 閉会</p>
<p>会議の結果及び主な意見（要旨）</p>	<p>1 開会</p> <p>(1) 委員16名中14名の出席で本会議は成立を確認。</p> <p>(2) 議事録署名人として会長及びいいじま委員を指名。</p> <p>(3) 傍聴承認。(3名)</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 答申「中間のまとめ」に対する議会からの主な意見</p> <p>区 資料1により「答申「中間のまとめ」に対する議会からの主な意見」を説明。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 目黒区住宅マスタープランの改定に向けて</p> <p>①答申「中間のまとめ」に対する区民意見等と対応（案）について</p> <p>区 資料2により「答申『中間のまとめ』に対する区民意見等と対応（案）について」を説明。</p> <p>委員 意見に対する対応区分の「今後審議を進める際の参考とします」については、いつ、審議の参考にするのか。</p> <p>整理番号3の区営住宅等の応募倍率の推移はどこに書かれているのか。</p> <p>区 答申する際や、来年度の審議の参考にさせていただくものと捉えている。</p> <p>会長 住宅マスタープランを審議する際に参考にするということだと思う。</p> <p>区 応募倍率については、入れるか入れないか、本日審議していただきたい。</p> <p>会長 入れるとするとどこになるか。</p> <p>区 答申に入れるのは構成として難しいと思う。入れるとすれば、基礎調査報告書の区営住宅の項目のあたりになると思う。</p> <p>会長 入れるかどうかについて、検討していただきたい。</p> <p>委員 答申に入れて、答申だけ見ればわかる状態にして欲しい。</p> <p>また、個人的には「中間のまとめ」に対する区民意見募集には疑問があった。実施した結果、意見は4件だけである。「中間のまとめ」の位置付けが区民に理解されないまま、意見募集を実施したことは重く受け止め、次回に向けて検討して欲しい。4件のうち議会からの意見はあったか。</p> <p>区 議会から1件あった。</p>

会長 わかりやすくするためにデータを答申に入れるという意見はわかるが、基礎調査報告書があるから別にするという事は議論をしてきた。

委員 区民が3人しか意見を出していないが、どのようにPRしたのか。回覧板で回して意見が書ける工夫をしたらどうか。

会長 やり方については議論した。これを超えたやり方が必要という意見は、その通りである。次回からやり方を工夫する。

区 区民意見の募集については、区のパブリックコメントの要綱に準じて行っている。審議会でやり方を議論するのは良いと思う。

委員 アンケートを実施するなら予算も必要となるので、そのことも含めて次回、検討して欲しい。

区 どのように27万人に伝えていくか、現在のやり方以外にどのような方法があるか、限界があると思う。

会長 議員の方などにも、もう少し有効な参加の方法を提案して欲しい。

委員 他の区でもこの程度か。

会長 都道府県レベルは別として、区市町村はこの程度である。

委員 意見を掘り起こす仕組みを進めるべきという意見だと思う。住宅政策に関する多様な階層を集めてワークショップを行うことなどが考えられる。もし実施するなら意見を深めていく必要がある。実施するかどうかとも検討する必要がある。

会長 区営住宅等の応募倍率の推移の公表についてはどうか。

委員 入れた方が良い理由として、1つは公的住宅の数が少ないこと、また、需要があるという状況がわかるということがある。

会長 区営住宅等の倍率を出すことはできるか。

区 区営住宅は平成27年度までのものは公表しているので出すことはできるが、部屋のタイプ等によって倍率が異なり、表現が難しい。

会長 倍率の掲載については会長に一任していただきたい。

#### ②第4回小委員会における審議について

会長 資料3により「第4回小委員会における審議について」を説明。

#### ③答申（案）について

区 資料4、参考資料、資料5により「答申（案）について」を説明。

会長 答申については最終になるので意見をお願いしたい。まず、区民意見の掲載方法について別冊にするか、案のように答申に添付した形にするか。

委員 添付した方が良いと思う。来年度もこれを参考にしながら議論していくのは大事なことだと思う。区民の意見のうち1件は生活に関わる団体が提出したと聞いている。意見として重要なので添付した方が良い。

会長 それでは添付することにする。他に意見はないか。  
基本理念は、主体的にみんなが住まいのことを考えよう、やっぴいこうということが含まれており、新しい切り口だと思う。

委員	民泊が問題になっているが答申には盛り込まれていない。どこかに入れてはどうか。
会長	小委員会でも民泊について議論した。プラス面もあるが問題もある。「共同住宅の適切な維持管理」として入れることにした。民泊だけを考えるのではなく、広く考えた方が良いということになった。
委員	「民泊」として載っていないので検討していないように見える。
会長	検討は行った。規制するか、推進するかは住宅マスタープランで議論するという考え方である。
委員	諮問への答申は、来年度以降に住宅マスタープランを検討するための基本的な方針を考えるという位置付けとした。民泊は話題性としてはある。ただ、住宅は個人の資産でもあるが存在そのものが社会的な資産であり、適切に管理することが区民としての義務であるという考えを共有した方が良いのではないか。適切な維持管理には、耐震改修や外壁メンテナンスもあり、民泊も同様に適切に行うべきである。
委員	答申は基本的方向であり、民泊は他のところで議論すれば良いと思う。
委員	民泊について、議会として別途対応することはあるが、小委員会で検討した結果、先程の意見であった理由で、盛り込む必要はないと思う。
委員	民泊については、目黒区ですでに問題がある訳ではなく、民泊に対する不安が大きくなっているのだと思う。答申に載せるより、区や議員に聞いてもらった方が良い。法律が通るといっただけで入れるのは難しい。
委員	「住宅セーフティネットに関する課題」の「区営住宅等の活用」の中で、どうするかという文章がない。審議会では、区営住宅については「増やすべき」と「なくすべき」という両方の意見があったが、目黒区としての結論を入れてはどうか。また、ここに公営住宅の倍率を入れてはどうか。
区	そこは「主な課題」なので現状分析が中心である。審議会でも区営住宅については議論があった。区としても区営住宅等については住宅マスタープランで検討するので、審議会でも議論していただきたい。審議会で両方の意見があったことは認識している。
委員	倍率を入れてはどうか。
会長	倍率の掲載については会長に一任していただきたい。
委員	目黒区では保育園の設置が難しいという問題もある。子どもたちの声で反対する方がいるが、昔は当然と思っていた。区議の方に反対する方を説得して欲しい。
会長	他では保育園があることを住宅政策に位置付けているところもある。
委員	答申については、ボリュームや質は適切と思う。具体的な施策に持つていくための前段としてはよいと思う。基礎調査のデータも別の冊子で良いと思う。答申に記載している基礎調査報告書のデータについて、参照ページを入れてはどうか。
会長	検討する。
委員	前回、欠席したが、会議録を見させていただき、住まい手の主体性という観

	<p>点は新鮮に感じた。「答申にあたって」の「ハコとしての住宅を提供するだけでなく・・・」という部分にも感心した。良い答申が出来たと思う。</p>
委員	<p>区民目線で言うと盛り込み過ぎと思うが、方向性を理解してもらうということでは良いと思う。区民や審議会、区、区長との間でギャップがあるのは当然である。もっとわかりやすい答申にしても良いと思うが、この段階ではこれで賛成である。区民の目線は忘れないで欲しい。</p>
会長	<p>住宅マスタープランを区民にわかりやすくすることは重要だと思う。わかりやすくする工夫をしている自治体もあるので、目黒区でもやってはどうか。</p>
委員	<p>基礎調査と答申のヒモ付をわかりやすくしてほしい。答申と住宅マスタープランのヒモ付けも重要だと思う。</p>
会長	<p>次年度の住宅マスタープランの議論が大事だと思う。</p>
委員	<p>基礎調査は数字だけで困っている人の声がかっていない。区民意見募集で出された団体の意見には困っている人の具体例があるが、本日の資料ではかっていない。区民のワークショップをやることは重要だと思う。基本理念で主体性を重視しているので、どう主体性を育てるかは大事であり、来年の課題だと思う。</p>
会長	<p>他で居住支援協議会に関わっているが、容易ではない。</p>
委員	<p>諮問への答申なので、これで良いと思う。審議会の中で活発に議論し、区民の意見を重視している。審議会の委員でざくばらんに話ができる機会があっても良かったかもしれない。身近な話から出たことが反映されることが大事である。</p>
委員	<p>主体的というのがポイントだと思っている。審議会の特徴だったと思うので、住宅マスタープランにつなげてほしい。</p> <p>審議会に若い人がいないことは問題である。若い人たちは住宅やみどりやコミュニティへの関心が薄い。そういった人たちの意見を聞くのは難しいが、巻き込んでいくことが今後の課題だと思う。</p>
会長	<p>若者がいきいきと働いて住み続けるための政策は大事だと思う。</p> <p>目黒区は「参加の目黒区」である。区民が主体的に参加しながら住宅施策を作ることが特色だったし、公営住宅に代わって家賃補助を実施していることも特徴である。</p>
委員	<p>審議会の委員をもう少し増やすことはできないか。16名というのは決まっているのか。</p>
区	<p>条例で17名に決まっている。</p>
委員	<p>区長に答申を渡すのは単なるセレモニーで終わるのでなく、答申を踏まえて区に実施してもらうことが大事だと思う。</p>
区	<p>審議会に諮問しているので、その答申を踏まえて住宅マスタープランを作るとは当然であると考えている。</p>
会長	<p>区営住宅等の応募倍率について整理したうえで、会長と副会長が区長に答申を行う。</p>

**(2) その他**

薬袋委員の退任の挨拶。

**4 閉会**

会長 以上で本日の審議会を終了する。

以上は、会議の概要であることを証する。

委員署名

---

---